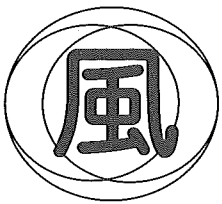


関西いのちの電話

こころがつかれたら…06-6309-1121

自殺予防いのちの電話(フリーダイヤル)
0120-738-556
毎月10日 午前8:00 ~ 翌日午前8:00



東日本大震災に想う

関西いのちの電話 理事 茂木 洋子

東日本大震災・原発事故で被災された方々及び大きな影響を受けられた方々に、心からお見舞い申し上げます。

未曾有の大災害であったことは、日を追って明らかとなり、事の重大さに驚きました。世界各国から多くの方々が救援に飛んで来て、力を貸してくださいました。国内のボランティア団体もいち早く動いて、ボランティア活動の中心になり大きな力になりました。「今、自分に何ができるか」それぞれが考え行動しました。このことがボランティア活動のきっかけになった人も多かったことは意義あることでした。

関西いのちの電話としては、日本いのちの電話連盟の呼びかけに応じ、3月28日から4月9日まで「震災いのちの電話」に参加し、被災者のお辛い気持ちを聴かせていただきました。

その後は平素の相談電話の中で、聴かせていただくことしております。

あの震災の日から3ヶ月経ちましたが、テレビの画面などで見ると被災地はまだまだ瓦礫の山

で行方不明の者は8,095人も残っています。その中で自衛隊員は黙々と働いてくださっています。農漁業をはじめ製造業の方々は元の仕事の復旧に懸命の努力をなされています。

原発関係者は停止中の原発を復旧させる方向で、必死の努力を続けている姿が見られます。誰も経験したことのない大事件の後の混乱も皆さんの努力で方向が見えて来たかと思えます。私は第2次世界大戦後、東京の焼跡に立ったことがあります。足がすくんだことを思い出します。今回の被災地にはそれ以上の大変さを感じながら、わずかな明るさを感じます。

それは東北地方の人々の逞しい姿があったからでしょう。特に子どもたちの明るい表情に助けられました。「明るい東北地方」がもどってくることを「神」に祈ります。

「今私達のできることは？」電話相談です。

電話相談もかけることができない人々にも思いを至らせ、与えられた役割を果たして行きましょう。

【2010年の受信状況について】

～ 記録分析委員会 長尾文雄さんに聞く ～

関西のいのちの電話では、相談員が記録した受信カードを元に、1年間の受信状況について分析を行っています。今号では、記録分析委員会の委員長として、長年この分析に携わってこられた長尾文雄さんに、受信状況から読み取れる傾向や、今後の相談活動に対する思いを聞きました。

2010年全体の受信傾向

2010年1年間の総受信件数は、前年より12%増の23,846件となりました。2007年までは2万件に満たない件数でしたが、2008年以降は2万件を超えています。性別では男性48% 女性52%で、女性からの相談が全体の半数以上を占めているものの、男性からの相談も2009年以降増加傾向にあります。年代別では、40代が全体の32%を占め最も多く、次が30代の26%、50代が18%となっています。

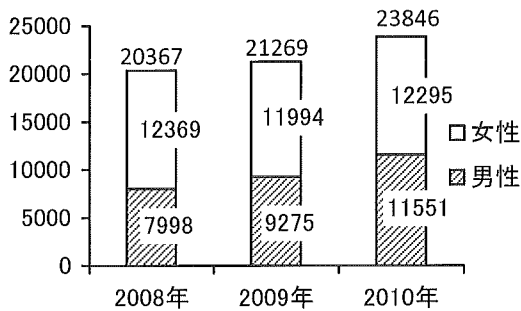
自殺志向件数は全体の17%で、2008年からその割合に変動はありませんが、件数にすると4千件近く近くなります。前年と比較しても、500件近く自殺傾向の電話が増えているという状態です。

また、心の病を訴える件数は2006年から全体の半数以上を占めるようになり、特に2010年は58%で、前年から2千件以上増えました。

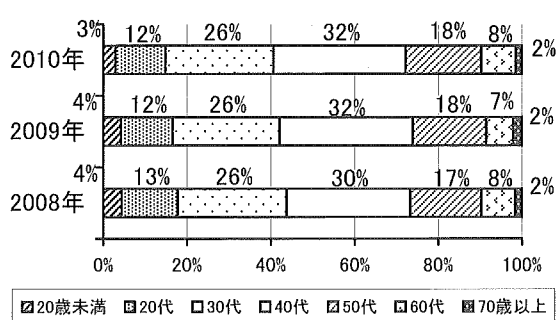
30代・40代未婚男性が増加

2010年の最も特徴的な点として、30代・40代未婚男性の大幅な増加があげられます。但し、頻回通話でもその層が多いことから、特定の通話者によって全体が押し上げられたのであり、電話をかけてこられた方の総数が必ずしも増えたわけではないと捉えています。この層の方からの相談には、働き盛りの年代に心の病で仕事に就けない挫折感や、一人暮らしでその辛さを話す相手がいない寂しさ、今の状況をどうすることもできない不満や怒りが感じられます。

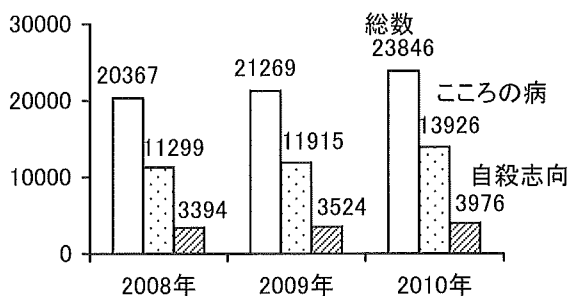
<男女別相談件数>



<年代別相談件数>



<「こころの病」と自殺志向件数>



<男女別相談内容 上位5項目>

- | 性別 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|----|---------|-----------|---------|---------|--------|
| 男性 | 人生(31%) | 保健医療(28%) | 相談外(9%) | 家族(8%) | 性(7%) |
| 女性 | 人生(29%) | 保健医療(26%) | 家族(15%) | 対人(12%) | 夫婦(7%) |

また、20代から40代の未婚女性で心の病をもっている人の中には、人間関係に問題を抱えている場合が多いように感じます。その背景には、子供の頃の母親との葛藤があり、それがいまだに解決できず引きずっているという状況が見られます。

最近、DV等の専門ホットラインが数多くでき、それらに該当するような相談は減少しましたが、どちらにも該当しない、また受け入れてもらえないという方がかけてこられているように思います。「いのちの電話」には、そのような方の受け皿としての意義もあると感じています。また、心の病をもった40代、50代の方たちが、社会的な繋がりがなく、「いのちの電話」しかない状況に追い込まれているということも非常に気になります。

一方、2010年警察庁発表の自殺者数データによると、女性よりも男性の方が圧倒的に多い状況です。40代から60代の男性が多く、特に50代男性は5千件以上発生し最も多くなっています。実際の自殺者数と当方の受信件数では、傾向が全く違うということがわかります。

記録分析の活動で得られるもの

この記録分析活動は、「集計したものを公式記録としておいておくだけではもったいない、相談員で共有しなければ」という思いで、20年ほど前から始まりました。毎月20名前後のメンバーで受信記録カードを読み、分析結果をシェアしあっています。しかし、この活動から得られるものは、受信状況だけではありません。カードを読むことで、「こんなケースがあるのか」と視野が広がり、「このような関わり方があるのか」と聴き方の幅を広げることができるのです。電話相談は相談員一人で完結した活動のように思われがちですが、決してそうではありません。受話器を取って話を聴いているのは一人でも、「いのちの電話」という

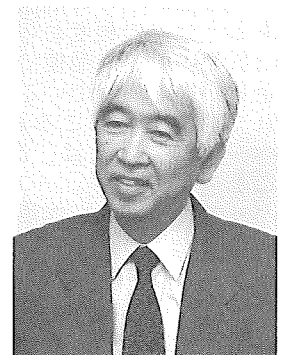
組織全体で聴いているのと同じことなのです。

これからの相談活動に望むこと

電話相談とは、かけ手と聴き手の感情の交流だと思っています。かけ手がどのように感じ、聴き手がどう感じているのか、「今ここで」の感情のやりとりなのです。かけ手の感情が動けば動くほど、聴き手も揺り動かされてしまうものですが、自分自身の感情の動きをしっかりと意識し、それを素直に伝え返すことが、かけ手の鏡となり、かけ手の気持ちの整理につながり、それはまた、聴き手の応答の質を上げることにつながると思います。

「いのちの電話」は、電話という手段を通じて、孤立している人たちのそばにしようという願いで創設されました。24時間、誰からの電話にでも耳を傾け、心を寄せる人間がいるというメッセージを絶えず発信していくことが重要です。

ただし、この活動には、「成果が見えにくく、かけ手や周りから評価してもらえない」という難しさがあります。かけ手の「誰かと繋がりたい」という欲求に応えるためには、相談員自身がかけ手の存在に関心を持って繋がりたいという強い欲求を持っていなければ、疲れてしまいます。そのために、組織内でお互いの頑張りを認め合い褒め合うことが大切なのです。研修や委員会活動など、すべての活動が支えとなり、一本の電話が成立しているということを意識しながら、相談員同士の繋がりをもっと強くしていただきたいですね。(談)



夏期募金を おかけいたします



24時間・365日「眠らぬダイヤル」として 相談活動をおこなっています

皆さまのご支援がいのちをつなげ、電話をつなぎます。
活動資金が必要です。いのちの電話の活動を支えてください。

お振込先 ※社会福祉法人へのご寄付は税制上に優遇されます。
口座名義 : 社会福祉法人・関西いのちの電話 理事長 李 清一
口座番号 : ゆう貯銀行・郵便局 00990-3-68480
: 三井住友銀行 十三支店(普) 998829

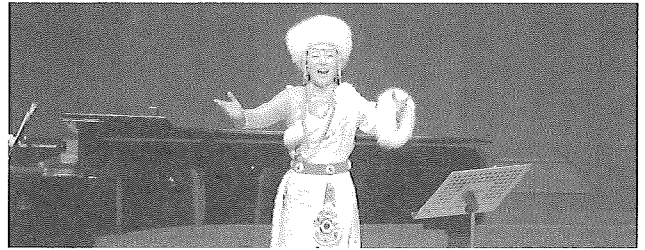


「資金ボランティア」のお願い あなたのご支援で数えられる「いのち」があります
「時間や労力は提供できないけれど、いのちの電話の活動を応援しよう」と、思ってくださいの方は「資金ボランティア」になっていただけませんか。「資金ボランティア」になっていただいた方には、「資金ボランティア会員証(カード)」を発行しています。

バイマーヤンジン こころのコンサート

今年も事業企画委員会による恒例のチャリティーコンサートがこの6月24日(金)の夕べ「いずみホール」で開催されました。日下部吉彦先生の企画、高瀬佳子さんのピアノ伴奏のもとチベット声楽家のバイマーヤンジンさんをお迎えしての音楽会で、梅雨空のはざま1階席がほぼ満席という盛況で、「関西いのちの電話」の広報活動の一助たりえたと考えます。

ヤンジンさんは厳しい大自然のチベットで成長され、大変な競争のもとで国立四川音楽大学に入学、西洋オペラを専攻されました。縁あって日本男性と結婚、来日17年になります。日本語の習熟度は素晴らしく、大阪弁を交えた話術の巧みさに開演早々に聴衆全員が引き込まれてしまいました。ヤンジンさんは東北にも支援者が多く今回の大震災後も直ちに援助活動を開始されていますが、第1曲の「祈りの唄」に込められた鎮魂の思いに涙を誘われてしまいました。来日後の自国とのカルチャーショック、日本で初めて見た海、その感動が「われは海の子」「荒城の月」に、やっと授かった子供への愛が「チベットの子守唄」「父母の声」に、更にチベット人としてのアイデンティティーがチベット民謡「山を越える」「忘れられない」にと歌い継がれていきました。ヤンジンさんの体験に裏打ちされ、力強くみずみずしい感性から紡ぎだ



される唄は音楽を遥かに超える心の表象で、笑いと感動とその中に自分自身と向き合うことの大切さを考えさせられた二時間でした。アンコールの「ふるさと」は全員で合唱しましたが、「忘れがたきふるさと・思い出ずるふるさと」にはどの様な思いが重ね合わされたのでしょうか。ヤンジンさんのチベットでの学校建設活動も故郷への深い思いが原動力なのでしょう。今年も対外協力委員会の募金活動にも多くの賛同が寄せられ、「絵葉書」の販売という新しい企画も加わって、これからのコンサートの新しい波を予感しています。チャリティーコンサートをご支援いただき有難うございました。

(事業企画委員会)

『7月からホームページが新しくなります』

「関西いのちの電話」のホームページを見たことがある方はどの程度おられるでしょうか？ホームページは新規の情報を簡便に提示できるため、多くの組織、企業が力を注いでいる広報手段であることは広く知られています。ところが、これまでの私たちのホームページの見映えは、改善の余地の多いものであったことも事実です。一方で、数少ない広報委員のメンバーでは、これら作業の実現はなかなか困難なものでありましたが、昨年度、ホームページリニューアルのためのプロジェクトチームへの参加を呼びかけたところ、約10名の参加があり、この度、ゴールが目前に見えてくるところまで、たどりつくことができま

した。

今回のリニューアルに際しては以下の点を目指しています。1) デザイン性の向上 2) 分かりやすい構成 3) 掲載内容(コンテンツ)の更新をプログラミングの知識を必要とせず、関連部署の担当者が直接行えるようなシステムの導入。特に3) が実現すると、コンテンツの更新頻度も増え、最新情報をより早く発信できるというホームページ本来の機能が活かされることが期待できます。新しい「関西いのちの電話」のホームページは以下のアドレスで2011年7月より開設の予定ですので、是非、ご期待ください。(広報委員会)
(URL : <http://kaindnew.com>)

電話相談受信状況

受信月	3月	4月	5月
受信件数	2,029件	1,856件	2,023件
相談員数(延)	490人	466人	507人

バザー開催のお知らせです。
皆さまのご支援とご協力をお願いします。

日時 平成23年11月5日(土)
10時~14時
場所 博愛社内



編集後記

梅雨雲と たためば青空 陽の力 (E.I)

社会福祉法人 関西いのちの電話

事務局 〒532-0028 大阪市淀川区十三元今里3-1-72
TEL 06-6308-6868 FAX 06-6308-6180
発行人 李 清一 編集 広報委員会
ホームページ <http://www.kaind.net/>